

## 大切なまちを守り続ける



消防団長  
関谷 孝一 さん

越前消防団は、地域に密着した消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず、町民の生命、身体および財産を災害から守るという重要な役割を担うため、日夜、献身的に活動を続けています。東日本大震災後も、全国各地でこれまでにない集中豪雨や土砂災害などが発生し、さらに近い将来には大規模な地震の発生が懸念されているため、消防団の役割と期待は益々大きくなっていると実感しています。

近年では、少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化により、全国的に消防団員が減少しております。本町においても、地域防災の担い手の確保が大きな課題となっておりますが、我々消防団は常備消防と連携し、地域のみなさんと一体となって、「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと、地域特性を活かした活動の充実と地域防災力の向上を進めてまいりますので、今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。

近年では、少子高齢化の進展や社会経済情勢の変化により、全国的に消防団員が減少しております。本町においても、地域防災の担い手の確保が大きな課題となっておりますが、我々消防団は常備消防と連携し、地域のみなさんと一体となって、「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛護の精神のもと、地域特性を活かした活動の充実と地域防災力の向上を進めてまいりますので、今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。



## 地域のために自分にできること



消防団員  
山口 堅悟 さん

私は消防団に加入して6年目で、朝日地区第4分団に所属しています。私たちの普段の活動は、火災に備え、管轄する地域の巡回や消火栓、防火水槽など不備がないか定期的に確認を行うだけでなく、毎年5、6月には、操法訓練を行い、ポンプ操作や放水の練習を行っています。

また近年は、火災だけでなく風水害も多発していて、より迅速な対応を求められています。被害を最小限に抑えるためにも、地域のみなさんと連携して災害対応を行っていくことが大切で、普段から地域行事に参加し、コミュニケーションを取るよう努めています。

## 消防署から見る

### 消防団

あらゆる災害活動において消防署だけでは対応しきれない場合があり、消防団がいち早く現場に駆け付け被害が最小限に食い止められた事案が多くあります。特に自営業や建設業などあらゆる職種の方々が構成されている消防団が持つ地域性の高い情報や専門的知識が強い力となっています。日夜、地域の防火防災活動にご協力いただいている消防団のみなさんに心より感謝申し上げます。今後も協力して地域を守っていく所存です。

越前消防団では、地域を守る消防団員を随時募集しています。入団を希望する人は鯖江・丹生消防組合までご連絡ください。

## 問合せ先

防災安全課 ☎ 34-8721  
鯖江・丹生消防組合  
丹生分署 ☎ 36-0119  
朝日分遣所 ☎ 34-0119  
越前分遣所 ☎ 37-0119

# まちを守る人を守る 消防団

## 地域を守る

### 消防団

消防団とは、普段は別の仕事をしながら、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の火事や災害時には現場に駆け付ける非常勤特別職の地方公務員です。消防団は、全国すべての市町村に設置されており、現在、町には越前消防団として359人の団員が在籍しています。越前消防団は、水防団としても活躍しており、台風、豪雨、地震などの自然災害発生時には救助や被害を防ぐ活動、さらには事故災害における救助活動などを消防職員と連携して、あらゆる災害に対処し、地域を守っています。

消防団とは、普段は別の仕事をしながら、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の火事や災害時には現場に駆け付ける非常勤特別職の地方公務員です。消防団は、全国すべての市町村に設置されており、現在、町には越前消防団として359人の団員が在籍しています。越前消防団は、水防団としても活躍しており、台風、豪雨、地震などの自然災害発生時には救助や被害を防ぐ活動、さらには事故災害における救助活動などを消防職員と連携して、あらゆる災害に対処し、地域を守っています。

## 消防団の日々の活動

- 月2回の定期巡回広報（火災予防）
- 地区の防災訓練での指導
- ポンプ車、消防水利の維持管理
- 操法訓練

など

## 水防訓練と

### 土のうの活用

毎年、水防訓練を地域住民や町職員などと一緒に行っています。訓練当日には多くの土のうを作成し、希望する地区に配ります。過去に町内で起こった水害の際に、その土のうが活用され、災害が軽減された実績もあります。ぜひ、積極的に持ち帰って突発的な災害に備えてください。



## 日々の鍛錬

### 操法大会

消防団は火災消火のため、消防ポンプ車や小型ポンプの取扱いと操作の手順を習得する訓練を日々行い、いかなる状況下においても迅速、確実かつ安全に活動できるよう鍛錬しています。訓練の成果として、消防団の消防技術を競う操法大会が年に一度行われており、今年度は宮崎地区第一分団が見事優勝しました。

